

とうきょう すくわく プログラム

こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん

品川区立品川保育園 実践紹介！

とうきょう すくわくプログラムってなに？

幼稚園や保育所において、子供たちが好奇心や興味を持って、わくわくしながら遊び、学べるよう応援する取り組みです。取り組みを通じて、子供たちの自己肯定感や思いやりといった豊かな心の育ちをサポートしていきます。

すくすく

すべての乳幼児の
伸びる・育つ

×

好奇心・探究心

を応援する幼保共通のプログラム

東京都

「非認知能力」の育成等、乳幼児の成長・発達をサポート

なんで？ どうして？

できるかな？ こうしてみよう！

できた！ 今度はあれをやってみようかな

好奇心を持つ
きっかけを増やす

考えを広げる

考えを深める

すくわくプログラムはどんなことをするの？

安全安心な環境のもと、子供たちが興味・関心を深められそうなテーマを園で設定し、好奇心を持つきっかけを増やしたり、考えを広げ、深めたりする取り組みを行います。

非認知能力とは

自己にかかわる心の力

- 自尊心
- 自己肯定感
- 意欲
- 粘り強さ

社会性にかかわる心の力

- 心の理解能力
- 共感
- 思いやり
- 協同性

テーマに関する子供たちの考えやイメージを引き出すための問い（例：〇〇ってなあに？）を考え、素材や道具を準備し活動を行います。

テーマ例：光・色・自然・音・泥遊び・絵本など

豊かな心の育ちを応援
乳幼児期は、「非認知能力」を培う大切な時

東京大学大学院 教育学研究科 教授 同附属発達保育実践政策学センター (CEDEP) 長 遠藤 利彦

子供が伸びやかに成長していくためには、無限大の好奇心に従って、心躍らせながら遊び学ぶことが重要です。また、同年代の子などと互いの個性を認め合いながら、1つのことに協力して取り組むことも大切です。この認識のもと、東京都と CEDEP は、「とうきょう すくわくプログラム」の支援に連携して取り組んでいます。



とうきょう すくわくプログラムは
こちらからご覧いただけます。

とうきょう すくわくプログラムは、東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター (CEDEP) との協定の下、東京都の「とうきょう すくわくプログラム推進事業」として策定したものです。



品川区立品川保育園

電話

03-3471-0506

所在地

東京都品川区東大井
5丁目8番12号



品川区立品川保育園で

4歳児
クラス



とうきょうすくわくプログラムに取り組みました

テーマ 風

普段、自然に触れる機会が少ない中でも、子供たちは日常の遊びの中で、水や風など身近な自然に興味を持っていました。また、本で作り方をしながら、様々な紙で紙飛行機を作って飛ばし楽しむ姿があったので、紙飛行機と風を組み合わせ活動を行うこととしました。

紙飛行機を飛ばそう！

活動の前に子供たちが折っていた、マイ紙飛行機を用意し、的をめがけて紙飛行機を飛ばして、飛び方の違いを確認しました。



どうしたらもっと遠くに飛ぶかな？

強い風があると遠くまで飛ぶかもしれない。



天井の扇風機を強くするとどうなるかな？

風で押されて下にいくかな？やってみよう



子供たちからの発言を受けて、子供たちの前に大型扇風機を登場させました。追い風で遠くに飛ぶことを確認したり、向かい風に挑戦したりする様子も見られました。

他の物も飛ばしてみよう！

次に、ちぎった花紙を落ち葉に見立てて、舞い落ちる紙をキャッチしたり、風船や、ビニール袋に風を集めて作ったさらに大きな風船を飛ばしたりしました。素材によって、落ちていく軌道が違うことに子供たちは気が付いていました。

扇風機の角度を変えて、風船を浮かべて滞空時間を測るなどしながら、大型扇風機の裏に貼り付く風船の様子を見て、なぜそのようになるのか思い思いに確かめていました。



風ってなんだろうね



活動を通して

同じ素材でも子供たちは一人一人、全然違う感じ方をしていました。扇風機の裏に貼り付く風船に気付き、「どうしてくっついたんだろう」と、風が生み出される不思議さを感じる姿も見られたので、風や空気について、より深めていきたいです。

